



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町2-10)

例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成30年4月10日(火) 第2842回 例会 (本年度第35回)

5月1日(火)	クラブ休会
5月8日(火)	ゲストスピーチ 酒井 忠順氏
5月15日(火)	ゲストスピーチ 戸村 雅子氏
5月22日(火)	孟宗汁家族例会 ⇒ 5月7日(月) 湯田川温泉「甚内」 開催に変更



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



皆出席

5年 西川富美子君 11年 阿部純次君 12年 越智茂昭君 37年 阿蘇司朗君

会長報告

会長/木村 節

本日は、東京東江戸川 RC 訪問の報告からです。4月7日(土)に当クラブより総勢12名でインフォーマルミーティング及び観桜会に参加致しました。場所は、例会場であるタワーホール船堀でした。インフォーマルミーティングではクラブ研修委員長である石橋正男氏から「米山奨学事業の生みの親、古澤丈作、そして大連宣言と道徳律」と題しての卓話を頂き、その後グループディスカッションと非常に勉強になるものでした。

東京東江戸川 RC では、初めてのインフォーマルミーティング開催とお聞きしました。鶴岡クラブでは年2回定期的にロータリーをもっと勉強しようというインフォーマルミーティングを開催しており、さすが鶴岡クラブだと強く感じました。

その後東江戸川 RC 次期会長である岡村利之氏の経営する東京銀座「麻里安」に行きました。

5月の孟宗汁家族例会についてですが、今年は参加人数も多く会員である「紅屋」での開催予定ですが、会員の皆様よりやはり地元湯田川孟宗を食べたいとの強い希望もあり5月7日(月)に湯田川温泉「甚内」さんで行うことといたします。詳細については、



近日中にご連絡いたします。

来週は例会休会そして4月18日(水)から鹿児島西 RC 訪問と行事が続きます。これからも来年度鶴岡 RC60周年記念事業への幅広い参加をアナウンスして行きたいと考えます。

食生活のマイノリティ

鶴岡市観光物産課 国際交流員 ミヨ・サラ氏



皆さんこんにちは。去年八月から鶴岡市観光物産課で国際交流員として、インバウンド促進戦略に取り掛かっています。具体的には、コミュニケーション、SNS を充実させたり、動画を作ったり、撮影をしに行ったりして情報発信を充

実させているところです。

今日の話は、インバウンド促進戦略から見てもロータリークラブの概念から見ても面白い話になるかもしれません。

今日のテーマは、食生活の多様性、ひいては食生活のマイノリティにしました。世界中の人々は、同じ食生活をしている訳ではありません。しかも、同じ国の中でもみんな同じ食べ物を食べているわけでは無いんです。階級、宗教などいろいろな要素によって食生活が違いますよね。これからインバウンドを4倍まで増やしたいこの鶴岡市の人達は海外の食生活少数派の人々を理解する必要があります。

食生活のマイノリティにもいろいろな範疇があります。フランス人の私が一番思うのはハラールというカテゴリです。ハラールは、イスラム教徒が食べられる食べ物です。ハラールの反対言葉はハラムです。基本的に公式の屠殺方法を受けていない動物は食べてはダメです。ということは、お寿司も食べてはいけ

出席報告

会員数	31名
出席	20名
出席率	74.07%
前々回確定出席率	74.07%

RI 会長 イアン H.S. ライズリー ■ 地区ガバナー 鈴木 一作

■ 会長/木村 節 ■ 副会長/菅原成規 ■ 幹事/佐藤詩郎 ■ 会長エレクト/武田啓之
■ 会報委員会/阿蘇司朗・菅原成規・迎田 健・前田 優・真島吉也

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

ない。イスラム教徒はお酒を飲めないことになっていて、醗酵されたものも食べられません。

ベジタリアン。日本で一番知られている食生活のマイノリティです。動物の死体を食べたくない人を指す言葉です。魚もお肉も食べられない人です。

ビーガン。ビーガンというのは、ただお肉を食べない人ではなくて、動物性食品を完全にやめている人を指す言葉です。それは肉を含めて卵も乳製品そして、はちみつ、食生活以外にも広がっている概念です。レザーを着ちゃダメ。ウール、羊毛を着ちゃダメとか、動物テストが行われた化粧品つけちゃダメとか、そういうライフスタイルを送っている人を指している言葉です。

なぜビーガンになるのだろう。とっても生々しいドキュメンタリーが出てきたからです。『What the health』という動物性食品の健康への影響を説明したドキュメンタリー、Netflixでも見られます。そして、『COWSPIRACY』というのは、動物の痛みを考えたドキュメンタリー、屠畜場の状態、どういふ痛みを与えているかを説明しています。そのドキュメンタリーを見た人が沢山います。Netflixを使っているアメリカ人は基本的に多いから、見た人が多くて、それを見てから変えるべきだと思った人が沢山いたから、ビーガンブームになっています。そして、いろいろな要素を考えたうえで、ビーガンになる。その一つは健康の理由。動物性食品はコレステロールが高いです。コレステロールは動物性食品にしか無いものです。あとは肥満、バターとか生クリームとか油を断ったら肥満になるのは非常に難しいです。いろいろな科学的な証拠がありますが、動物性食品は内分泌攪乱物質が沢山入っています。あとは発がん性物質もあります。そして、倫理的な理由でビーガンになった人もいます。動物にも感情があり、痛みを感じるから食べちゃいけないって思っている人がいます。赤ちゃんから離された牛のお母さんは3週間も泣いています。本当の涙で声を出して3週間泣いています。それを非常に残酷だと思っている人がビーガンになるんですね。環境破壊を考えている人もいます。パーム油ってわかりますか、スイーツによく使われている油です。それを作るために南アメリカでは沢山の森を燃やし、その森に住んでいた猿やオラウータンを消滅させています。

この3つの理由でビーガンになっている人がいます。私も健康の為だけじゃなくて、私の楽しみ、私が『美味しい』って思うために、動物が死んだり地球が荒れたりするのはだめだと思ってビーガンになりました。でもたまに辛いです。特に日本では。周りの人から、「なんでビーガンになったの？体調大丈夫なの？タンパク質不足じゃないの？」とよく疑われています。それも毎日聞かれて責められているって感じでした。でもSNSのビーガンのコミュニティが助けてくれました。だから同僚さんにくら「ビーガンになって、サラさんダメでしょ」と言

われても頑張っていました。

お肉を食べないと、タンパク質不足でしょって思う人が沢山いるかもしれませんね。それは間違っています。鶴岡市に住んでいるからこそ、ビーガンになれると思いました。こんな美味しいお米、大豆、野菜、精進料理があるから肉なしに生き続けられると思いました。しかも、私は筋トレをやっているからタンパク質不足ではないかって心配しないで下さい。大豆はアミノ酸、人間の体に必要なアミノ酸が全部そろっているから、タンパク質不足ではありません。

食生活差別とは、ほかの差別と同様に人を傷つけます。これから外国人がますます来るこの鶴岡市の市民は食生活の多様性を受け入れ、理解しようとするべきです。そうしないと、鶴岡市の国際化は考えかねます。ビーガン達が鶴岡に来て、「なんで肉食べないの？それはダメでしょ」と言われたら二度と来ません。だから、賛成していませんとしても、その人たちによよして言うておいて下さい。

どうやったら、彼らのニーズに答えられるのでしょうか。具体的にいうと、私が考えたのは、鶴岡市の飲食店のメニューにビーガンロゴを貼ったり、アレルギー性の食品がメニューに入ったら、それを英語で表示したり、イスラム教徒フレンドリーメニューを作ったりして、基本的にビーガン料理を作ったら、イスラム教徒フレンドリーにもなりますので、一石二鳥ですね。そして、鶴岡の飲食店をカテゴリ別にインタラクティブマップを作って、無料のアプリにアップしたりしたら、自由にビーガンの人でも、イスラム教徒の人でも、アレルギーにかかっている人でも、鶴岡市を自由に楽しめるようになりますね。国際化には、国際理解を深める必要があります。人間に一番重要なものから始めましょう。他人の食生活を理解してみましょ。ご清聴ありがとうございました。



委員会報告

出席委員会

◆メイクされた方

榎本久静子君 武田啓之君 佐藤孝子君
越智茂昭君 小林健郎君

スマイル

阿蘇司朗君 誕生祝ありがとうございます。天皇陛下と同期です。皆出席37年目を迎えさせて頂く事が出来ました。

越智茂昭君 ミヨさんありがとうございました。先日もビーガンとお話しさせていただきました。

富樫松夫君 ミヨ・サラさんスピーチありがとうございました。

富田喜美子君 サラさん、スピーチご苦労様でした。ビーガンについての説明有難うございました。